

## 環境に配慮した完熟堆肥をタイへ JFC、循環型高付加価値農業の普及に挑戦

国際協力機構 (JICA) は、「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」において、株式会社 **ジャパン・フラワー・コーポレーション** (富山県射水市、松村 吉章 代表取締役社長) が提案する「**完熟堆肥による高付加価値農作物の生産販売および完熟堆肥製造システムの販売に関する基礎調査**」(タイ) を採択しました。

中間層・富裕層の増加に伴い安全・安心かつ高品質な農作物が求められるようになったタイでは、有機農業志向が高まる一方、依然、農薬や化成肥料の使用が多く、高付加価値化生産が課題となっています。また農薬の連続使用等による土壌や作物への悪影響も懸念されています。

花卉・農業事業で実績を有する同社は、(株)有機産業が開発した、完熟堆肥 (有害成分が全て分解された良質堆肥) を製造する「リサイクルトップシステム」の国内・海外における販売を手掛けています。このシステムは、極めて短時間で、環境に優しく農作物の収量・味・栄養価を飛躍的に向上させる有機肥料を製造することができます。本製品を現地に普及することで、農業生産性向上、国産農作物の高付加価値化を図る他、原料に畜産廃棄物を利用することで、廃棄物処理課題の解決も目指します。



主軸産業は農業

高付加価値化が課題



「リサイクルトップシステム」⇒ごく短時間で堆肥が完熟 人の背丈程に育ったサトイモ

本調査では、開発課題分析および事業化に向けた市場調査等を通じたビジネスモデルの検討を行います。同社の取り組みにより、農業生産性・価値ともに向上するとともに、北陸とタイの交流促進および経済活性化に繋がることも期待されます。

なお本調査は、我が国の中小企業を対象とした「基礎調査」(注)として実施され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

(注)基礎調査は、優れた製品・技術を有する中小企業の途上国進出による開発課題解決の可能性及び ODA 事業との連携可能性を検討するためのもの。企業は、検討に必要な情報収集と海外展開事業計画の策定を行う。2017年度第1回は今年3月に公示を行い、13件を採択した。

参考: (プレスリリース) 基礎調査 2017年度第1回公示の採択結果について

[https://www.jica.go.jp/announce/notice/fs/ku57pq00001ynho4-att/fs\\_170308\\_result.pdf](https://www.jica.go.jp/announce/notice/fs/ku57pq00001ynho4-att/fs_170308_result.pdf)

【本件に関する問い合わせ先】

★おかげさまで JICA 北陸設立 25 周年! ★



JICA 北陸 担当: 松柴 (まつしば)、小島 (こじま)  
 TEL: 076-233-5931 FAX: 076-233-5959  
 E-mail: [Matsushiba.Yuka@jica.go.jp](mailto:Matsushiba.Yuka@jica.go.jp)  
<https://www.jica.go.jp/hokuriku/>

**PRESS RELEASE**



独立行政法人国際協力機構  
北陸支部（JICA 北陸）  
2017年7月19日

---